#ニッポンの仕事

～社会・経済を支える業界団体～

日本歯科技工士連盟

歯科技工士、歯科技工所の永続可能な条件整備を！

歯科医師の指示に従って入れ歯や歯のかぶせ物、詰め物、矯正装置等を加工作成・修理する歯科技工士。歯石除去等を行う歯科衛生士とともに、歯科医師を補助するチームメンバーとして必要不可欠な存在です。日本歯科技工士連盟（日技連盟）は、そのような役目を担う歯科技工士の待遇改善や養成・技術向上、歯科医療全般の発展を求めて政治活動を行っています。

歯科技工所の事業主も会員 その数約３千人

60年以上の歴史を持つ日技連盟は、歯科技工士の業界団体である公益社団法人日本歯科技工士会（公益日技）の政策提言や要望を実現するため、政治を中心に広く働き掛ける活動を積極的に行っています。

近年の実績としては、歯科技工士国家試験の全国統一、業務従事者届様式の改正、歯科技工士学校指定規則の改正等が挙げられます。これらは自民党「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」の支援により実現しました。

歯科技工士は、専門の教育機関・課程で2年以上、知識と技能を修得した後、国家試験に合格し、そして登録を経て免許状を得なければなりません。働く場所は歯科技工所、歯科医療機関、総合病院等です。歯科医療に携わりながらも、歯科医師と同じ場所で働いてはいない技工士の割合が多い、という点に特徴があります。

そのため、日技連盟の現在の会員構成は個人会員（有資格者）が約5200人、開設者会員（歯科技工所の事業主）が約3千人、賛助会員が2800人となっています。公益日技の個人会員は約6千人ですから、日技連盟は開設者会員の人数分、組織規模としては公益日技よりも大きいといえます。

なり手不足が深刻化 歯科予算の増額を求める

現在、歯科技工の業界は長期に進行する難題に直面しています。なり手不足が深刻化しているのです。昭和50年代後半、歯科技工士を養成する教育機関は70校を超えていて、毎年約3500人が国家試験に合格。それだけの人数が業界へ入ってくる体制でした。

しかし、40年経った今、教育機関は42校に減り、各校の定員も減っています。その結果、国家試験合格者は約800人にすぎません。

こうしたなり手不足は、低賃金・長時間労働の改善が進まなかった労務環境と手作業が多く残る非効率な設備環境に大きな原因があると日技連盟は捉えています。

従って解決策は、歯科医療への社会的評価を高め、歯科予算を増額へ導くこと。それには、歯科技工士、歯科技工所の働き掛けでは効果が見込み難いため、歯科医師と歯科衛生士を合わせた3職種がスクラムを組んで行動する必要があると日技連盟は考えています。

歯科技工士と歯科技工所の就労実態調査が不可欠

一方、歯科技工士業界において以前から認識されていながら、今日まで看過されてきた事柄があります。それは歯科技工士の就業実態調査です。

歯科技工士の有資格者は2年に1回、就業届を所管行政機関へ届け出るだけで仕事に就くことができます。就労上の強制加入団体はありません。そのため、実際に就労している人と就労していない人を判別するすべがないのです。有資格者のうちの相当な人数が未就労とも推測されています。このままでは実情に即した政策の提言は難しいとの声が業界内で上がっており、日技連盟は歯科技工士と歯科技工所の継続的な就労実態把握を強く求めています。

このほか、歯科技工の業界においても浸透する医療DXについて、日技連盟は情報セキュリティと歯科補てつ物（作成物）の安全・安心の観点から早急な法規作りを提案しています。

長寿社会においてなくてはならない歯科技工――。しかしながら、業界内の課題は、大小さまざまなものが山積した状態といわねばなりません。現状を広く社会に知ってもらうための協力を関係各所に仰ぎたいと日技連盟は考えています。

歯科技工所の仕事は技術革新が進む一方で手作業もまだまだ多い

日本歯科技工士連盟
奥村 英世 会長

日本歯科技工士連盟は昭和34年に設立されました。日本歯科技工士会と連携し、歯科技工士の社会的地位の向上、経済問題の解決、ならびに歯科医療の発展に寄与する目的で作られた、専門的医療技術者である歯科技工士の任意加入政治団体です。

自民党の皆さまの中でも主に「歯科技工士に関する制度推進議員連盟（顧問・伊吹文明前衆院議員、会長・上川陽子衆院議員、幹事長・橋本岳衆院議員、筆頭幹事・福岡資麿参院議員、事務局長・松本洋平衆院議員、事務局次長・石川昭政衆院議員）」を先頭にご支援をいただいております。

歯科技工士に関する懸案事項は山積しています。なかでも歯科技工士の高齢化、早期離職、なり手不足による歯科技工士の減少傾向は将来の歯科医療崩壊を招きかねません。「経済財政運営と改革の基本方針2023（骨太方針）」に歯科技工および歯科技工士が含まれたことは自民党による積極的な支援のたまものであります。国政選挙においては、当連盟一丸となって引き続き応援する所存です。

自民党の皆さまには歯科医療の評価をますます高めていただきますようお願い申し上げるとともに、当連盟の活動に一層のご理解、ご指導、ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

日技連盟の最高議決機関である評議員会。今年度は３年４カ月ぶりの対面開催となった

今年３月に開かれた「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」の勉強会

タブロイド判カラーの日技連盟機関紙